



新ドメイン対応ガイド

～ VeriTrans 口座振替サービス ～

Ver. 1.0.0 (2024年1月～)

目次

1 はじめに.....	3
2 Web アクセス URL の変更.....	3
3 API クライアント実行環境の更新.....	3
3.1 Java 実行環境の更新.....	3
3.2 API サーバーホスト名の変更.....	4
4 ブラウザの画面遷移に関する補足.....	4
5 参考情報.....	5

改訂履歴

2024/1 : Ver1.0.0 リリース

1 はじめに

本ガイドでは VeriTrans 口座振替サービスにおける接続先ドメインの変更方法を説明します。
以下の2点の変更が必要となります。

- ✧ Web インターフェースにおけるアクセス URL (ブラウザからの POST 先 URL) のドメインの変更
- ✧ API クライアントをご利用の場合、Java 実行環境の更新と API サーバーホスト名のドメインの変更

2 Web アクセス URL の変更

加盟店システムの実装をご確認いただき、Web インターフェースのアクセス URL を新ドメインのホスト名に変更してください。

旧ドメイン：<https://api.veritrans.co.jp/atp/>

新ドメイン：<https://api3.veritrans.co.jp/atp/>

3 API クライアント実行環境の更新

この手順は、API クライアントアプリケーションをご利用の場合に必要となります。

3.1 Java 実行環境の更新

1. API クライアントから新ドメイン環境に接続するためには、**Java 1.8.0_131** 以降の Java が必要です。このバージョンよりも古い Java をご利用の場合は Java のバージョンアップを行ってください。
2. API クライアント (ver 2.0.0 以前) のパッケージに含まれる cacerts ファイルでは新ドメインの URL には接続することができないため、**Java 1.8.0_131** 以降に含まれる cacerts ファイルに更新してください。cacerts ファイルのパスは、設定ファイルの次のエントリで指定されています。

設定ファイル名：conf/AtrsHttpClientConfigure.conf

項目エントリ名：SSL_TRUSTSOTRE_FILE

- ・ このエントリで指定されている cacerts を、Java に同梱の cacerts に置き換えて下さい。

項目エントリ名：SSL_TRUSTSOTRE_PASSWORD

- ・ SSL_TRUSTSOTRE_FILE で指定した cacerts のパスワードを設定してください。

(Java に同梱の cacerts のデフォルトパスワードは changeit)

(設定例)

```
# CA 証明書ファイル
# ファイルパスをフルパスで記入して下さい。
SSL_TRUSTSOTRE_FILE=path_to_cacerts
# CA 証明書パスワード
SSL_TRUSTSOTRE_PASSWORD=changeit
```

- ◇ 最新の API クライアント (ver 2.1.0) における設定ファイル仕様の変更について
- 最新版 API クライアント (ver 2.1.0) へのバージョンアップは必須ではありませんが、ver 2.1.0 では、設定ファイル (AtrsHttpClientConfigure.conf) の上記 2 つのエントリ (SSL_TRUSTSOTRE_FILE、SSL_TRUSTSOTRE_PASSWORD) を指定しなければ (2 つのエントリをコメントアウトするか、行ごと削除すれば)、ご利用の JDK のデフォルトの cacerts が利用されるように変更されております。設定が少しシンプルになりますので、よろしければご活用ください。

3.2 API サーバーホスト名の変更

設定ファイル内の API サーバーホスト名を新ドメインのホスト名に変更してください。

設定ファイル名 : conf/AtrsHttpClientConfigure.conf

項目エントリ名 : API_HOST_NAME

旧ドメインのホスト名 : api.veritrans.co.jp

新ドメインのホスト名 : api3.veritrans.co.jp

(設定例)

```
#API サーバーホスト名
API_HOST_NAME=api3.veritrans.co.jp
```

4 ブラウザの画面遷移に関する補足

加盟店システムがブラウザを新ドメインの Web アクセス URL に遷移させても、後続の画面遷移では旧ドメインに遷移する場合がありますが、これは正常な挙動です。

画面遷移は複数回行われますが、最初にブラウザを画面遷移させた後、2 回目以降の画面遷移先については弊社にて順次切り替えを行い、2025 年 2 月までにはすべての接続が新ドメイン環境に切り替わります。

5 参考情報

- 新ルート証明書 :DigiCert Global Root G2 (S/N: 033af1e6a711a9a0bb2864b11d09fae5)
<https://cacerts.digicert.com/DigiCertGlobalRootG2.crt.pem>
- SSL/TLS サーバー証明書のルート証明書、および中間 CA 証明書変更に関するご案内
<https://knowledge.digicert.com/ja/jp/generalinformation/INFO2525.html>
- レポジトリサイト(公式)
<https://www.digicert.com/kb/digicert-root-certificates.htm>